

平成 30 年度

国庫補助金 重要文化財（工芸品）能装束＜繡箔葭水禽文＞保存修理事業概要報告

■事業対象の美術工芸品の概要

【名 称】 重要文化財 繡箔葭水禽文

【数 量】 一領

【寸 法】 身丈 143.5 身幅・肩 38.5 袖 37.5 袖丈 51.0
袖幅 22.0 袖幅・衿山 11.5 衿裾 15.0

(cm、上前計測)

【制作年代】 桃山時代

【概 要】

- ・本作品は表地と裏地ともに絹の平織地で仕立てた能装束。
- ・身幅が広く、袖幅が狭い形状で、桃山時代の仕立ての特徴である。
- ・両袖袂に振り、身ハツ口がある。
- ・雪持ち芦と水鳥とを刺繍で埋め尽くすように全体にあらわし、隙間を金や銀の箔を置いた（摺箔）意匠である。



■事業目的

表地は経年劣化、摺箔の糊の硬化で損傷が著しく、全面に裂けや欠損が生じている。旧修理の際の裏打ち補強で用いられた糊の経年劣化のため、数箇所裏打ちの外れがあり、特に負担のかかる肩山・衿山・疊み山付近には糊離れが多数確認できる。刺繍は擦れ等の負担のかかる肩山・衿山・疊み山付近は欠失や切れによる乱れが生じている。また鉄媒染を使用した茶色の糸は劣化しており、大部分が欠損している。岡山藩主池田家に伝來した本作は桃山時代の特徴を備えた貴重な能装束であり、貴重な国民的財産として適切な修理を行い、一般への公開に供すると共に次世代に継承することを目的とする。

■全体の事業期間

平成 30 年 4 月から令和 3 年 3 月までの 3 カ年 ※平成 30 年度は継続事業の 1 カ年目

■事業体制

一般財団法人林原美術館の事業とし、施工は株式会社染技連、株式会社岡墨光堂に委託

■平成 30 年度総事業費および補助金額

本年度総事業費 3,757,851 円

国庫補助額 2,254,000 円

岡山県補助額 501,000 円

岡山市補助額 501,000 円
所有者負担額 501,851 円

■平成 30 年度修理内容の概要

- ①調査及び記録写真の撮影
- ②解体
- ③表地の旧修理裂^{きず}除去、しわ伸ばし
- ④摺箔^{すりはく}の剥落止め、養生
- ⑤旧裏打ち紙の除去
- ⑥裏打ち及び補強（平成 30 年度は⑥の 20% の施工迄を完了）

■修理イメージ

解体作業



旧修理裂の除去後、しわ伸ばし作業



剥落止め（処置前）



剥落止め（処置後）



写真提供 株式会社染技連
株式会社岡墨光堂
制作 林原美術館

※本事業は文化庁国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金、岡山県文化財保護費等補助金、岡山市文化財保護管理費等補助金の交付を受けて実施されています。